

I D					外来・入院(号)
氏 名					性別
生 年 月 日	年	月	日	(歳)

化学療法指示書 (ドセタキセル) 乳癌

1クール21日 (21日ごと投与)

第 () クール

主治医		CCr	ml/min
身長	cm	腎機能	正常/異常
体重	kg	肝機能	正常/異常
体表面積	m ²		

ドセタキセル day 1 点滴静注

投与量 (75 mg/m²) = () mg

27	中心静脈注射	98	無菌(悪性腫瘍剤)	サイン						
39	埋込型カテーテル中心静脈	33	外来化学療法加算	P	r	D	r	N	s	医事
年 月 日 (day 2朝~3夕)										
内服処方 デカドロン 0.5mg 16T 2x(2)MA				処方箋にて入力						
年 月 日 (day 1)										
[:]	プライミング (末梢時は不要)									
	大塚生食注 20mL 1A									
[:]	ボトル① 5分			ボトル①						
	生理食塩液 50mL 1V			5分						
	デキサート 6.6mg 1V									
	□嘔気が出現したら2回目以降、生食50mLのかわりに グラニセトロンバッグにデキサートを混注して20分で投与。									
[:]	ボトル② 60分~120分			ボトル②						
	※点滴開始後、10分間は点滴速度を125mL/時間以下にして、 全身状態を観察すること。			60分						
	大塚生食注 250mL 1V									
	ワンタキソテール () mg (75mg/m ²) (ドセタキセル)									
	ワンタキソテール 80mg () V									
	ワンタキソテール 20mg () V									
	□アルコール不耐の場合はワンタキソテールではなく、 タキソテールを使用して生食 または 5%TZで溶解すること。									
[:]	ボトル③ 5分			ボトル③						
	大塚生食注 50mL 1V			5分						
	ハ ^o リンNaロック10シリンジ 1V (末梢時は不要)									

	検査データ	バイタル	副作用チェック	看護記録
月 日 (day1)		前 中 後	嘔気嘔吐 血管炎 排便状態(下痢・便秘) 脱毛 発熱	サイン

投与基準

○好中球数:2000/mm³未満

○AST(GOT)・ALT(GPT):施設正常値の1.5倍以上 かつ ALP・LDH:施設正常値の2.5倍以上、ビリルビン:施設正常値の1.5倍以上

○発熱、CRP上昇、白血球増加

→上記の基準に当てはまる場合は、投与休薬必要

※初回投与基準および減量基準は「ドセタキセルによる外来がん化学療法」参照

主な副作用

○アナフィラキシー

○脱毛（発生時期:投与後2～3週間後からが多く、治療終了後3～6ヶ月で再び発毛）

○骨髄機能抑制（7～10日目以降）

○悪心・嘔吐、食欲不振

○下痢

○体液貯留（浮腫）

注意事項

○アルコール過敏症か否かの聴取（アルコール摂取で赤くなる患者かどうか？）をすること

・アルコール可の場合

ワンタキソテールを使用

・アルコール不可

タキソテールを使用

80mg製剤には7ml,20mg製剤には1.8mlの生食又は5%TZにて、激しく振盪混和。

バイアルを倒立させ10分放置。泡を含まない澄明な部分より必要量を抜き取る。

○ミキシング時21～23Gの針を使用すること

○血管外漏出に注意（壊死性）

○CYP3A4で代謝される薬剤との併用注意（タキソテールの血中濃度が上昇する）